

潰瘍性大腸炎・クローン病先端医療センター

「患者さんの腸の状態を適切に判断し治療を行うこと」をモットーに、様々な医療職による総合的、包括的なチーム医療・ケアを行っています。



外来診療部
QRコード



得意とする疾患と担当医師

外来日	月	火	水	木	金
午前	○	○		○	○
午後			○	○	○

・潰瘍性大腸炎、クローン病/先進的免疫抑制療法(多数の治療を含む) /
潰瘍性大腸炎 2000 例、クローン病 800 例

渡辺 守(高等研究院院長)、大塚 和朗(光学医療診療部教授)、長堀 正和(潰瘍性大腸炎・クローン病先端医療センターセンター長、臨床試験管理センター准教授)、齊藤 詠子(消化器内科学部内講師)、藤井 俊光(消化器内科学部内講師)、竹中 健人(消化器医療連携学助教)、清水 寛路(消化器内科特任助教)、日比谷 秀爾(消化器内科特任助教)、本林 麻衣子(光学医療診療部特任助教)

・クローン病/小腸内視鏡/年間 314 件

大塚 和朗、竹中 健人

・クローン病/内視鏡的狭窄拡張術/年 88 件

大塚 和朗、竹中 健人

・クローン病/ MRenterocolonography 検査/年 360 件

北詰 良雄(放射線診断科)

・炎症性腸疾患/潰瘍性大腸炎(大腸全摘術) 17 件
クローン病(腸管切除・狭窄形成術) 17 件 肛門手術 18 件(2018 年度実績)

松山 貴俊(大腸・肛門外科講師、潰瘍性大腸炎・クローン病先端医療センター副センター長)



特色・診療内容

炎症性腸疾患 2800 例以上の診療を行う国内有数の IBD センターです。国内で行われる炎症性腸疾患のはほぼ全ての治療を担当し、開発段階から保険承認後までシームレスに治療に関する最新の情報が集積され、最先端の治療法及び薬剤の選択が可能です。多数の新薬が開発される中、患者さんの病態、社会的背景等、それぞれの特徴によって最適な薬剤を選択します。



お願い

炎症性腸疾患は慢性疾患ではありますが、急性増悪の際など、早急に積極的な治療が必要な場合も少なくありません。そのような病状の方は、予約の電話を頂く際にその旨遠慮なくお伝えください。

潰瘍性大腸炎・クローン病先端医療センターへご紹介の際には、「IBD センター」宛てとし、医師指定がある場合は医師名も紹介状に記載いただくとスムーズです。

参考：消化器内科もご覧ください。



初診予約受付(地域連絡室)

TEL 03-5803-4655
(平日 8:30~16:00)

緊急プライオリティコール(緊急診療)

TEL 03-5803-4900
(365日 24時間対応)

受診案内(患者相談室)

TEL 03-5803-4131
(平日 8:30~17:00)